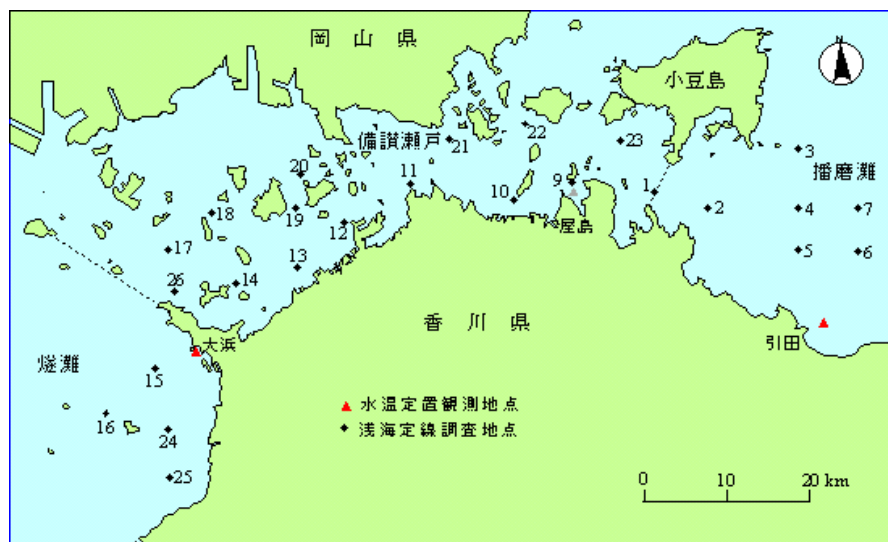


環境資源研究部門 (環境担当)

漁場環境の保全を図るため、海況観測調査、漁場環境調査等を実施している。

Environment and Fishery Resources Research Division (Oceanographic Research Section)

This section deals with research and investigation on environmental conditions of fishing grounds in order to conserve favorable conditions of fisheries environments.



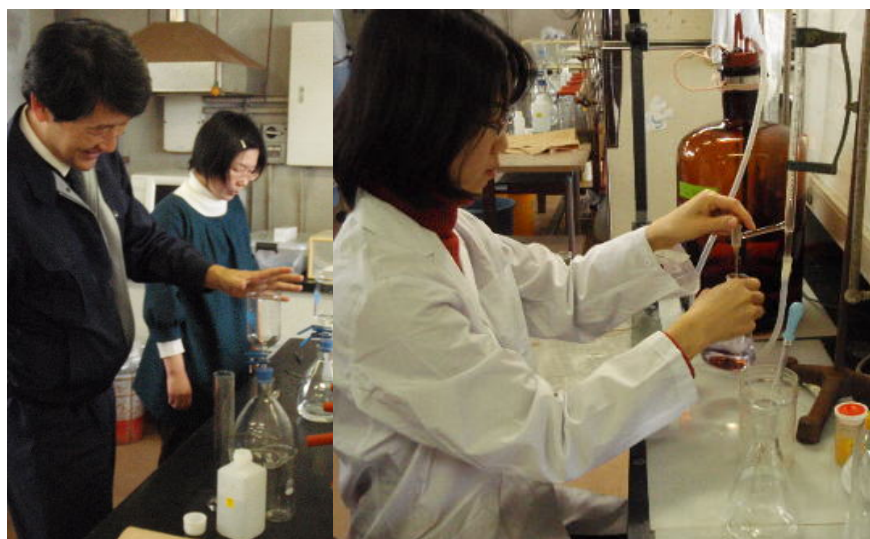
海洋調査定点及び自動海況観測装置設置位置

香川県海域の25定点で、毎月1回、水温、塩分、透明度、栄養塩類、溶存酸素量 (DO) 化学的酸素要求量 (COD)、クロロフィルa、プランクトン量などを調べています。



海洋観測 (卵稚仔調査)

海中に浮遊している、魚の卵を調べて、発生する稚仔魚の量を推定します。



水質分析

海水中の汚れを測る一つの指標として、化学的酸素要求量 (COD) を測定します。瀬戸内海のCODは昭和54年以降減少しています。



自動海況観測装置 (ブイ)

東かがわ市引田地先、高松市屋島湾、詫間町大浜地先の3点において、30分間隔で水温を測定しています。毎日午前9時の水深1mの水温がNHKと四国新聞等で紹介されています。

水温情報は[こちら](#)から見れます。